

千人みこし力強く練る



「みんなでてりゃあ夏まつり」で4年ぶりに担ぎ上げられたみこし＝多治見市音羽町、虎溪用水広場

多治見で「でてりゃあ夏まつり」

「みんなでてりゃあ夏まつり」(たじみ夏まつり実行委員会主催)が30日、多治見市音羽町の虎溪用水広場などで開催され、呼び物の一つ「千人みこし」が4年ぶりに担ぎ上げられた。

同日夜の市制記念花火大会に合わせた恒例の催し。ダンスチームの公演「おどらっせ」みこしを担いで練る「かつがっせ」のほか、eスポーツ大会など複数の催しが市中心市街地で行われ、多くの来場者でにぎわった。

かつがっせでは、みこしグループ「炎夏」に東濃信用金庫の職員有志が協力して担ぎ手が集まり、新型コ

ロナウイルス感染拡大後初めてみこしが担がれた。威勢のいいかけ声とともに虎溪用水広場周辺を練り、来場者の目を引いた。

初の試みとなったeスポーツ大会には約150人が出場し、ヤマカまなびパーク(同市豊岡町)に設けた大スクリーンで格闘ゲームとパズルゲームの腕前を競った。多治見西高校情報処理部が企画と運営に協力した。

実行委員会の小池高寛委員長は「皆が笑顔で楽しい時間を過ごしてくれた。全ての参加者に感謝している」と語った。

(稲木悠司)